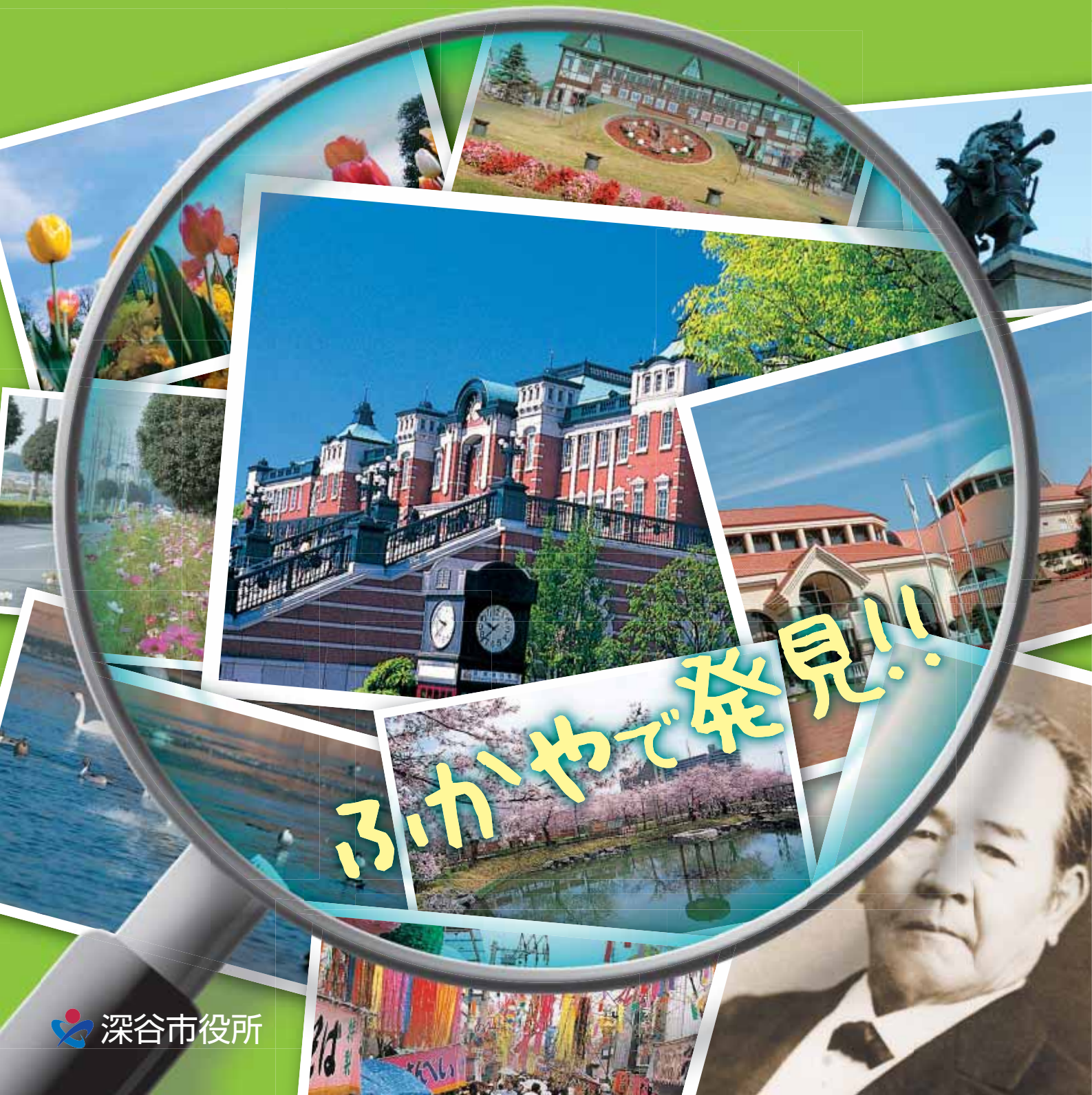


夢を育み 明日に飛翔する 笑顔都市 ふかや

# FUKAYA

ふかやガイドマップ

# GUIDE MAP

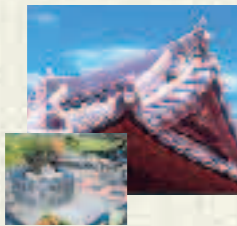


ふかやで発見!!

# とくせんぶらんど 深谷の特撰ブランド

## 瓦

聖武天皇の時代から造られてきた深谷瓦は、品質が優れていることから、県内はもとより、関東一円で広く利用されてきました。現在では、コンクリート造りの建物の屋根材としても使われています。



## 酒

深谷の酒造りの歴史は古く、現在では多くの銘柄が醸造され、たくさんの方に愛飲されています。長い歴史の中で、丹精込めて造り続けてきた深谷の酒には、風土の香りと深い味わいがあります。



## 陶管

深谷の陶管製造は江戸浅草の今戸焼をルーツに持ち、江戸時代には、素焼きの植木鉢、火鉢、火消し壺などの製造が行われてきました。現在では、需要の増加に伴い、土管が主流に生産されています。



## 縫製

深谷の洋装業は、昭和28年以来順調に発展してきました。深谷のアパレルの特色は、豊富な経験と技術を伴って、高級婦人服を作り出します。



長い歴史の中で育まれ、頑固なまでに守り続けてきた伝統の「技」と「味」。職人の品質と素材へのこだわりが生んだ「深谷特撰ブランド」を是非、ご堪能ください。

## 煮ぼうとう

「煮ぼうとう」は、深谷を中心とした埼玉県北部地方に古くから伝わる郷土料理です。鉄鍋または土鍋を使い、幅広いうどんを深谷ねぎなど地元産の野菜と一緒に煮込んだもので、現在では、深谷を代表する「郷土料理」として愛されています。



# とくさんひん 深谷の特産品

## きゅうり

みずみずしさと歯切れの良さが自慢です。その特有の味覚は他の食物の食欲をそそることで、じゅうぶんな価値を持っています。どんな料理にもぴったりの野菜です。



## ほうれん草

鉄分、ビタミンが豊富な元気野菜です。とりわけ、深谷で栽培される冬のほうれん草は、ビタミンCやミネラルをたくさん含んでおり、緑黄色野菜の少ない冬から春にかけては、毎日食べたい野菜の一つです。



## 深谷ねぎ



白くて長くてやわらかく、そして甘い深谷ねぎは、すき焼きや鍋物には欠かすことのできない人気のブランドです。晩秋から冬にかけて出荷される冬野菜の代表です。

## ブロッコリー

緑黄色野菜の中でも、ブロッコリーの栄養価はトブクラス、ビタミン類とともに歯や骨をつくるカルシウム、貧血を予防する鉄、腸粘膜を刺激し消化運動を高める食物繊維が多く含まれた、どんな料理にも合う栄養価の高い緑黄色野菜です。



## ユリ

ユリの栽培が盛んな深谷市では、オリエンタルユリ、LAユリ、スカシユリなどが生産されています。



## チューリップ

愛らしく、可憐な花として愛されるチューリップ。藤沢地区を中心に、生産されています。



# しちふくじんめぐり 深谷の七福神めぐり

## MAP 瑠璃光寺 F-4 「大黒天/ハギの寺」

【大黒天】  
学業上達、出世成功、生活の知恵を授ける裕福の神。  
【ハギ】  
マメ科ハギ属の落葉低木。花の色は一般的に紅紫色（白花もある）、秋の七草の筆頭。見頃は、7～9月にかけて。



大黒天

## MAP 一乗寺 E-6 「布袋尊/ナデシコの寺」

【布袋尊】  
子孫長久、家庭円満、福徳円満をもたらす神。  
【ナデシコ】  
ナデシコ科ナデシコ属の多年草。花は直径4～5cmの大きさで淡紅色。見頃は、8～9月にかけて。



布袋尊

## MAP 宝泉寺 D-7 「福祿寿/キキョウの寺」

【福祿寿】  
招福、招祿、招寿の神。  
【キキョウ】  
キキョウ科キキョウ属の多年草。花色はふつう青紫色だが、他に白・青・紫・桃色などもあり、花形や草姿の変わったものもある。見頃は、8～9月頃。



福祿寿

## MAP 全久院 G-4 「寿老人/フジバカマの寺」

【寿老人】  
人の安全と健康を守る長寿の神。  
【フジバカマ】  
キク科ヒヨドリバナ属の多年草。淡紅紫色の小さな花。葉草としても用いられる。見頃は、8～9月にかけて。



寿老人



七福神(恵比寿・大黒天・布袋和尚・寿老人・福祿寿・毘沙門天・弁財天)は、家内安全・商売繁昌・諸願成就などの守護神として、親しまれています。寿命をたつぷりあたえ、健康で、災難は消え財産をたくわえ、福徳円満で、誰からも信頼される人間にしてくれます。併せて、深谷の七ヶ寺には、「秋の七草」として知られるハギ・オバナ(ススキ)・クズ・ナデシコ・オミナエシ・フジバカマ・キキョウも植えられています。いつもとはひと味違ったハイキングとしてみなさんで訪ねてみませんか。

## MAP 惣持寺 G-2 「弁財天/オバナの寺」

【弁財天】  
七福神唯一の女神。家内安全、商売繁盛。  
【オバナ(ススキ)】  
イネ科ススキ属の多年草。小穂は白い毛に包まれ、雄しべの葯は紅紫色。見頃は、8～9月にかけて。



弁財天

## MAP 泉光寺 F-3 「恵比寿天/オミナエシの寺」

【恵比寿天】  
家内繁栄、商売繁盛、人々に恵みをもたらす福の神。  
【オミナエシ】  
オミナエシ科オミナエシ属の多年草。茎の先に粟粒のような黄色い小さな花をたくさん咲かせる。見頃は、8～10月。



恵比寿天

## MAP 正伝院 G-1 「毘沙門天/クズの寺」

【毘沙門天】  
仏法守護、病魔退散、財宝来福。  
【クズ】  
マメ科クズ属の蔓性の多年草。花は赤紫の蝶形花。食用・薬用としての効果もある。見頃は、8～10月。



毘沙門天

# いじん 深谷の偉人

## 近代日本経済の父 渋沢 栄一

しぶさわ えいいち

近代日本経済の立て役者として、今なお多くの人々の尊敬を集める渋沢栄一は、天保11年(1840)、深谷市血洗島の農家に生まれました。持ち前の正義感から若いころは尊王攘夷運動に加わったものの、その後は一橋家と幕府に仕えます。慶応3年(1867)には第15代将軍徳川慶喜の名代徳川昭武に随行して渡仏し、ヨーロッパの進んだ思想・文化・社会などに大きな影響を受けました。帰国後は明治新政府の大蔵省に仕えますが、大久保利通らと意見が合わずに辞職。以後は、実業界の最高指導者として大きな足跡を残しました。論語の精神を重んじた渋沢栄一は、各種産業の育成と500もの近代企業の確立に努めたほか、養育院や孤児院など600以上の社会公共事業に携わり、救護法の制定にも尽力しました。



■栄一が設立に関与した、第一国立銀行(日本で最初の銀行)



■アメリカのギューリック博士から友好親善使節として12,739体の人形が贈られ、その答礼に58体の日本人形を贈り、日米の関係改善に努めました。

深谷が生んだ「近代日本経済の父」「日本資本主義の父」といわれる明治の大実業家・渋沢栄一をはじめとして、深谷市は、現在でも多くの人たちの尊敬の念を集める多彩な人物達を輩出しています。そんな偉人達のゆかりの地を訪れてみるのも、趣のあるものです。

## 坂東武士の鑑 畠山 重忠

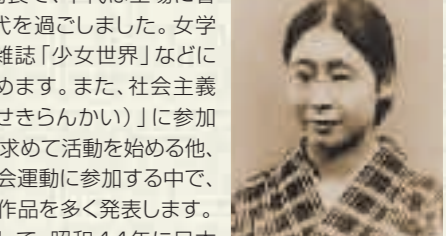
はたけやま しげただ



鎌倉武士の模範とされる畠山重忠は1164(長寛2)年、武蔵国男衾郡(おぶすまごおり)畠山荘(現在の埼玉県深谷市畠山)に生まれ、幼名は氏王丸といわれています。そのさわやかな気概と数多くの戦功は特に目立ち、鎌倉武士の模範とまで讃えられた武將でした。重忠の先祖は埼玉県の秩父地方に大きな勢力を持っていた秩父氏で、父・畠山重能(しげよし)の代に畠山へ移り住んだため、その地名を姓として名乗りました。重忠は少年時代をこの畠山の地ですごしますが、やがて菅谷に館を構えました。源平合戦での重忠の活躍ぶりは、数々のエピソードを残しています。また、重忠は文武両道にわたって優れていた人物であると言われています。歌舞伎や浄瑠璃などの題材にもなり、後世にも伝えられ、現在の人々にも大いに尊敬の念を集めています。

## 児童文学作家 北川 千代

きたがわ ちよ



大正から昭和期を代表する児童文学作家である北川千代は、明治27年(1894)に榛沢郡大寄村(現在の深谷市上敷免)の日本煉瓦工場内の自宅で生まれました。父の北川俊は日本煉瓦工場の初代工場長で、千代は工場に暮らし、深谷で小学校時代を過ごしました。女学校に入学したころから雑誌「少女世界」などに投稿し、文学活動を始めます。また、社会主義婦人団体の「赤濁会(せきらんかい)」に参加するなど、女性の自立を求めて活動を始め、娼妓解放支援などの社会運動に参加する中で、社会的矛盾を直視した作品を多く発表します。また、その業績を記念して、昭和44年に日本児童文学者協会により「北川千代賞」が創設されました。煉瓦工場や小山川の土手などを舞台とした「雪の日」「らっきょう」「汽車の婆の話」には、自叙伝としての深谷の思い出が描かれています。

# 深谷のまつり・イベント

深谷三大まつり「桜まつり」「七夕まつり」「深谷まつり」を中心に、深谷市では数多くのまつり・イベントが行われています。その躍動感と熱気を是非、味わってください。

## 深谷桜まつり

深谷一番の桜の名所として知られる「唐沢川の桜堤」をメイン会場に行われている「深谷桜まつり」。約3kmも続く両岸の桜並木を是非一度ゆっくり歩いてみて、咲き乱れるソメイヨシノを堪能してください。写真が好きな人は、滝宮神社近くにある朱色の太鼓橋に立ち、桜を背景に一枚撮ってみてはいかがでしょうか。

- ◆開催期間／3月下旬～4月上旬
- ◆開催場所／JR深谷駅周辺



## 深谷まつり

深谷まつりは、天和年間に深谷城城主上杉氏が宿場の繁栄を願って三社天王を祭祀した三百有余年の歴史を持つ伝統ある八坂まつりの中に行われ、深谷に夏の訪れを知らせるお祭りです。まつりのメインは、みこしパレード、山車・屋台パレード、各種イベントが目白押しです。

- ◆開催期間／7月 最終金・土・日曜日
- ◆開催場所／JR深谷駅北口周辺



## 七夕まつり

深谷七夕まつりは、江戸時代の宿場町の頃に行われていた、星まつりに端を発したといわれ、現在では、深谷市の一大祭事として、県外からの観光客もたくさん訪れます。期間中は、中山道を歩行者天国にして、色とりどりのくす玉飾りや竹籠、創作飾り、大がかりな仕掛け細工が飾られ、観光客はしばし足を止めて見とれている姿をよく目にします。

- ◆開催期間／7月上旬 金・土・日曜日
- ◆開催場所／中山道(中心市街地)



## おかベコスモス祭り／花火大会

旧岡部町が平成元年にコスモスを街の花に制定した事を記念し、平成元年に第1回大会が開催されました。祭りには商工会員・各種団体による模擬店や岡部商工会青年部による各種イベントが開催されます。夜には花火大会が開催され、祭りをより一層盛り上げ多くの人々を楽しませてくれます。

- ◆開催期間／10月中旬
- ◆開催場所／コスモス街道



## 小前田屋台まつり

旧花園町小前田地区には3台の屋台があり、いずれも明治初期に造られたもので、その雄大な造りや彫刻により、昭和52年には有形民俗文化財に指定されています。この3台の屋台を毎年10月の第2土曜・日曜日に引き出し、国道140号線の秩父往還で屋台囃子を演じながら曳(ひ)き回します。

- ◆開催期間／10月 第2土曜・日曜日
- ◆開催場所／国道140号周辺・道の駅はなぞの



## ふれあいカーニバル

ふれあいカーニバル(夏祭り)のストリート会場には、商工業者・各種団体・企業からの模擬店の出店や若者の掛け声とともに大きく揺らぐ神輿と市の指定文化財でもある屋台から繰り広げられるリズムカルな太鼓の音が響き渡り、祭りをより一層盛り立てます。

- ◆開催期間／7月 第3日曜日
- ◆開催場所／岡部駅前通り



## 深谷花火大会

深谷花火大会の会場となる荒川の冬は、「白鳥飛来地」として有名です。県外からも多くの方が見えられ、1年を通して憩いの場として親しまれています。そして8月には、「深谷の夜空を彩る真夏の花火」をテーマに、尺玉やスターマインなど約4,000発の美しい花火の競演をお楽しみいただけます。

- ◆開催期間／8月 第1日曜日
- ◆開催場所／荒川河川敷



# 深谷の桜百景

ひゃっけい

桜が花開く、美しい季節…。街全体が春色に染まるこの季節。人それぞれに訪れる、春の気配は澄みきった空気の中、やわらかな風となって花をゆらし、私達の横をかすめてゆきます。そんな花のささやきのような、人にやさしい深谷の春をご案内いたします。

### MAP E-4/F-4 唐沢堤 からさわつつみ

深谷一番の桜の名所として知られています。昼も夜も桜が美しく、全長3kmにわたり約300本の桜が咲き乱れます。

- ◆所在地／深谷駅南側



### MAP E-4 下台池公園 しもだいでいこうえん

駅のすぐ南に位置する公園で、大・小2つの池を取りかこむように桜が咲きます。ライトアップされた橋上駅をバックに、夜桜見物するのもおすすめです。

- ◆所在地／西島5-11



### MAP E-5 仙元山公園 せんげんやまこうえん

仙元山を一周できる散策コースには、桜とつつじが群れるように咲いており、ため息がでるほどの美しさです。

- ◆所在地／上野台2568



### MAP F-4 深谷城址公園 ふかやじょうしこうえん

深谷上杉氏の城跡につくられた公園。外堀に沿って桜が咲いており、水面に写る桜の美しさは、また別格です。

- ◆所在地／本住町17



### MAP E-2 小山川 こやまがわ

堤防沿いに咲く約100m程の桜並木。この季節、菜の花が同時に咲くため、その色彩のコントラストが美しく見事なものです。

- ◆所在地／共栄橋付近(大寄公民館付近)



